

国語科学習指導案

指導事項

時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。(C (1) ウ)

今回の取り組み (挑戦)

- ・繰り返しの構造をとらえさせる。
 - ・基本的な学習用語を学ぶ。
- お話に出てくる人→登場人物

1 教材名 おおきなかぶ (読む: 物語文) 教育出版

2 目標

繰り返しの展開を楽しみながら、場面の様子について登場人物の行動を中心に想像を広げて読む。

3 学習計画

一次: 教師の範読を聞き、内容に興味関心をもったり、感想をもったりする。 ①

二次: 登場人物の人数と、出てきた順番を確かめる。 ①

(学習用語: 登場人物)

「うんとこしょ、どっこいしょ。」のセリフの数を確かめる。 ①

セリフをだれが言ったのか確かめる。

一番大切な「うんとこしょ、どっこいしょ。」を選んで、理由を考える。 ①

三次: 似ているところ、似ているけれど違うところを見つけて、ノートに整理させ、作品の組み立てについて理解させていく。 ①

* アニメーションと並行読書 ②

4 7時間予定 (1時間多くなっています。アニメーションを入れさせてもらっています。)

1時間目 教師の範読を聞き、内容に興味関心をもったり、感想をもったりする。

学習活動	時間	指導上の留意点	評価
1 本時のめあて「すきなばめんをえにかこう」を確認する。	5	・黒板にめあてを書き、ノートに試写させる。集中して試写する習慣が身に付くように、5分程度でかけるようにする。 ・くりかえしのあるお話とは、	

		同じ場面が繰り返されているお話を「くりかえしのあるお話」という。	
2 本文の範読を聞いたり、音読をしたりする。	10	<ul style="list-style-type: none"> ・全文の範読を聞く。 ・指でなぞりながら聞かせる。 ・範読後の音読は、先生に続いて児童に音読させる。 	
3 だいたいどんなおはなしだったか思い出して発表する。	5	<ul style="list-style-type: none"> ・どんなお話だったか発表させていく。 ・たくさんの児童に発表させたいので、短く発言させていく。 ・川ごとに挙手をさせた児童を起立させてもよい。ただし、全員の児童を一度に起立させると、教室の中にざわざわ感が出てくるので、クラスの実態を考慮してほしい。 	
4 ノートにおもしろかったことを絵に描き、見せ合う。 ノートに描く ↓ 少人数交流 ↓ 一斉	20	<ul style="list-style-type: none"> ・ノートにおもしろかったことを絵で描く。 ・教科書の挿絵を見ながらでもよい。 ・子どもに自由に書かせていく。 ・次の時間に登場人物について学習するので、たくさんの登場人物について書いている子を、確認しておく。 ・最後の2～3分を使って、交流を行う。ペア→起立させノートの見せ合い。 	
5 本時の学習の自己評価をする。	5	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてにもどり、自己評価をさせる。 	

2時間目 登場人物の人数と、出てきた順番を確かめる。

学習活動	時間	指導上の留意点	評価
1 本教材のめあて「でてきたひとをしらべよう」を確認する。	5	<ul style="list-style-type: none"> ・黒板にめあてを書き、ノートに試写させる。集中して試写する習慣が身に付くように、5分程度でかけるようにする。 	
2 本文の音読をする。	10	<ul style="list-style-type: none"> ・全文を音読する。 ・読み終わったあと、登場人物を調べることを予告し、音読する目的意識を持たせていく。 	

<p>3 ノートに登場人物の人数をかく。</p> <p>4 登場人物という用語を知る。 (登場人物の定義を学ばせる。)</p> <p>5 登場人物が出てきた順番をノートに整理する。</p>	<p>10</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・先生に続いて児童に音読させる。 ・このお話に出てきた人は何人ですか。と発問する。子どもは、①3人・②6人・③7人と3通り答えることが予想される。 ① 何人と発問しているので、3人と答える。 T：誰と誰と誰ですかと切り返す。 C：カブを引っ張った人もっといたと子どもから出てきたらすごい。 ② 6人 T：前の時間に絵を描きましたがそこには何人が描かれていますか。 ・何人か指名した後、昨日のうちに確認しておいた6人描いてある児童を指名する。 ③ 6人にカブをいれて7人 ・お話に出てくる人は、人間だけとは限らない。 ・でてきたひとのことを登用人物ということを教え、ノートに書かせる。 ・カブについて確かめる。 C：かぶは登場人物ですか。 T：登場人物はセリフがあるかどうかが目印になります。かぶは何かお話していますか。 C：していません。 T：それではカブは登場人物にはなりません。いれません。 T：そうすると、登場人物は何人になりますか。 C：6人。 T：では、6人が出てきた順番を確かめましょう。 ・出てきた順番を書かせるときには、ノートの一番上に番号を書かせてから行う。番号は5分で書かせていく。 ① おじいさん ② おばあさん 	
--	-----------	--	--

6 出てきた順を確認する。		③ まご ④ いぬ ⑤ ねこ ⑥ ねずみ ・早く書けた子には、空いているところに、登場人物の絵を描いて待つことを指示する。 ・机間支援をしながら、丸を付ける。このことにより、児童の意欲の向上を目指したい。 ・時間を見計らい、交流をする。 ペア→一斉	
5 本時の学習の自己評価をする。	5	・めあてにもどり、自己評価をさせる。	

3時間目 「うんとこしょ、どっこいしょ。」のセリフの数を確かめる。

学習活動	時間	指導上の留意点	評価
1 本時のめあて「せりふをしらべる」とノートに書く。	5	・黒板にめあてを書き、ノートに試写させる。集中して試写する習慣が身に付くように、5分程度たったら、音読を開始することを予告しておく。	
2 本文の音読をする。	10	・クラスの皆でしっかりした声で音読させていくことが大切である。歯切れよく読むこと、クラスみんなが仲間の声を聞きながら、声をそろえて読むことを目指す。 ・先生が先に読んで、子どもによませていくのでよいでしょう。	
3 セリフはいくつあるかたしかめる。	10	T：登場人物はセリフがあるかどうかが目印になります。と言いました。みんなは登場人物は6人と言ってくれましたが、本当にせりふはありますか。セリフがいくつあるか調べましょう。セリフの目印はかぎかっこです。 C：7こ 6こ	ここが大事で聞いていることをノートに書いている。 (ノート・観察) 読む

<p>4 セリフを確認していく。</p> <p>5 登場人物を確認する。</p>	20	<p>T：一つ目のせりふは何ですか。 C：「あまい、あまいかぶになれ。おおきな、おおきなかぶになれ」 T：二つ目のセリフはなんですか。 C：「うんとこしょ、どっこいしょ。」 T：三つ目のセリフは何ですか。 C：「うんとこしょ、どっこいしょ。」 ↓ T：七つ目のセリフは何ですか。 C：「うんとこしょ、どっこいしょ。」 T：全部で七つありました。一つ目のセリフは誰が言いましたか。 C：おじいさん T：二つ目から七つ目までは、「うんとこしょ、どっこいしょ。」 じゃあ誰が言っているかわからないね。誰が言っているセリフかたしかめていきましょう。 T：一番初めの「うんとこしょ、どっこいしょ。」は誰が言っているかな。 C：おじいさん T：二番目の「うんとこしょ、どっこいしょ。」は誰が言っているかな。 C：おばあさん C：おじいさんも言っているんじゃないかな。 T：「うんとこしょ、どっこいしょ。」を言っている人は、2人に増えてるね。 ↓ T：最後の、「うんとこしょ、どっこいしょ。」は、誰が言っていますか。 C：おじいさん、おばあさん、まご、いぬ、ねこ、ねずみの6人です。 T：そうすると、セリフを言っているのは6人ですね。登場人物は6人です。 T：登場人物とうんとこしょのセリフの数は同じだね。</p>	
<p>5 本時の学習の自己評価をする。</p>	5	<p>・めあてにもどり、自己評価をさせる。</p>	

4 時間目 一番大切な「うんとこしょ、どっこいしょ。」を選んで、理由を考える。

学習活動	時間	指導上の留意点	評価
1 本時のめあて「一番大切なセリフを選ぼう」	5	<ul style="list-style-type: none"> ・黒板にめあてを書き、ノートに試写させる。集中して試写する習慣が身に付くように、5分程度たったら、音読を開始することを予告しておく。 	
2 本文の音読をする。	10	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスの皆でしっかりした声で音読させていくことが大切である。歯切れよく読むこと、クラスみんなが仲間の声を聞きながら、声をそろえて読むことを目指す。 ・先生が先に読んで、子どもによませていくのでよいでしょう。 *前時の学習が生きていると、「うんとこしょ、どっこいしょ。」の読み方が変わってくると思われる。 そこで、読み終わったあと、 T：6回の「うんとこしょ、どっこいしょ。」をどのように読みましたか。と発問してもよい。 	
3 6回の、「うんとこしょ、どっこいしょ。」の中で、一番大切なセリフを選ぶ。	20	<p>T：6回の、「うんとこしょ、どっこいしょ。」の中で、一番大切なセリフはどれだと思いますか。</p> <p>(全体で確認する前に、ペア学習・グループ学習などが入ると、交流活動になる。(はばプラ))</p> <p>C：6回目</p> <p>T：そのわけをお話してください。</p> <p>ここでは、</p> <p>C：みんなで言っているセリフだから</p> <p>C：家族が力を合わせているから</p> <p>C：仲間が力を合わせているから。</p> <p>などの、発言が出てくると、主題に迫ってくると考える。</p>	
4 主題を意識して音読をする。	15	<ul style="list-style-type: none"> ・音読をする。2回目の音読なので、児童だけで、声を合わせて音読させていく。 T：どんなことに気を付けながら音読していきますか。 C：みんなで力を合わせていることがわかるように。 C：だんだん人数が増えていることがわかるように。 	
5 本時の学習の自己評価をする。	5	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてにもどり、自己評価をさせる。 	

5時間目 同じところ、似ているけれど違うところを見つけて、ノートに整理させ、作品の組み立てについて理解させていく。

学習活動	時間	指導上の留意点	評価
1 本時のめあて 「同じところ、にているけれどちがうところ」を調べよう。	5	・黒板にめあてを書き、ノートに試写させる。集中して試写する習慣が身に付くように、5分程度たったら、音読を開始することを予告しておく。	
2 本文の音読をする。	10	・全文を通読させる。読むときに、歯切れ良く音読することが、内容を理解する上で基礎となることを伝える。 *声をそろえて。	
3 同じところ、似ているけれど違うところを見つけて、教科書に線を引く、その後ノートにまとめる。 線を引く。 ↓ ペア ↓ クラスの中で交流 ↓ 一斉	15	・同じところ 「うんとこしょ、どっこいしょ。」 にているけれど、違う。 ・「それでも、かぶはぬけません。」 ・「まだまだ、かぶはぬけません。」 ・「なかなか、かぶはぬけません。」 ・「とうとう、かぶはぬけました。」 上記をノートに試写させる。	きつねがおおかみとたたかった理由を書いている。(ノート・観察)読む
4 繰り返しの組み立てを理解させる	10	・同じところ、似ているけれど違うところに気を付けながら音読させることにより、繰り返しの組み立てを理解させていきたい。	
6 本時の学習の自己評価をする。	5	・めあてにもどり、自己評価をさせる。	

6時間目：繰り返しがある作品でアニメーションを体験する

7時間目：並行読書をする。

学習活動	時間	指導上の留意点	評価
1 本時のめあて 「くりかえしがあるおはなしを読もう」	5	図書室活用 ・黒板にめあてを書き、一緒に読む。	
2 アニメーションを体験する。	40		

<p>3 図書室に行って、繰り返しがある本の読み聞かせをする。</p>	<p>15</p>	<p>・司書の先生に依頼しておき、選書しておいてもらう。</p> <p>① さんびきのこぶた</p> <p>②</p> <p>③</p> <p>④</p> <p>⑤</p> <p>⑥</p> <p>⑦</p> <p>⑧</p> <p>⑨</p> <p>⑩</p>	
<p>3 選書して読書をする。</p>	<p>20</p>	<p>・繰り返しの気を付けながら読書をする。</p> <p>・読み終わったら本を交換する。</p>	
<p>4 誰が出てきた本なのか紹介し合う。</p>	<p>10</p>	<p>・登場人物を発表しあう。</p>	
<p>6本時の学習の自己評価をする。</p>	<p>2</p>	<p>・めあてにもどり、自己評価をさせる。</p>	